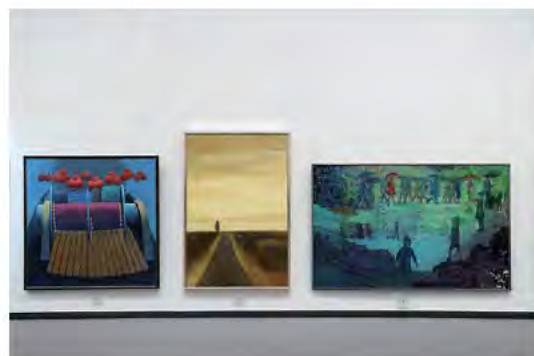


第104回 二科東海展

2019年12月10日(火)～15日(日) 愛知県美術館ギャラリー

2年ぶりの東海展 壮観624点展示

前回、第103回は会場の愛知芸術文化センターの改修工事のため巡回を辞退した二科東海展ですが、開催可能となった今回はあいちトリエンナーレ2019開催のため12月の会期となりました。実質2年半ぶりの巡回展でしたが、展示室は例年と変わらぬ全9室(ギャラリー全フロアの約80パーセント)に、会員・会友・出品者が総出で、力作ぞろいの地元作品をはじめ、巡回作品を含め、絵画部199点・彫刻部18点・デザイン部171点・写真部236点展示することができました。絵画部は当地区を代表する主要作家をはじめ、会員・会友・入選者、各理事の作品を5室にわたり展示。彫刻部作品は東京展の展示風景パネルとともに広い展示室を効果的に使用。デザイン部は「絶滅危惧種の盗掘・乱獲防止」をテーマとするポスターや自由テーマポスターなどを展示。写真部においては動物・風景・祭事など多岐にわたるテーマの作品が整然と展示されました。



華やかに受賞・入選を祝う 二科東海展懇親パーティーを開催

初日 12月10日(火)は、共催の中日新聞社、CBCテレビからの来賓をお迎えしての開会のテープカットセレモニーをおこないました。早々にCBCテレビからの取材が入り、当日の昼の地域ニュースとして、また中日新聞社においても翌朝刊に記事として取り上げられました。



また、11日(水)には名古屋国際ホテルにおいて、懇親パーティーを実施致しました。共催二社をはじめ当地区において二科を応援下さる

各方面からのご来賓をお招きし、さらに東京からは、公益社団法人二科会より理事長・田中良先生、事務局長・埴珠世先生のご来駕を賜りました。ご高齢にもかかわらずお元気で精力的な田中先生のお話や、二科の輝かしい歴史に触れられた埴先生のお言葉に、出席者一同心を熱く掻き立てられました。

東海展6日間の入場数は6458名、年末の慌ただしい時期にもかかわらず、盛況な展覧会となりました。

